



**大前 裕也 議員**  
(加西維新の会)

## 身を切る改革について



は差し控えます。自主的に検討されていることについて評価しています。

**問** 近隣市の議員定数に関するアンケートでは、約8割が議員定数を削減すべきという結果であった。また、議員定数削減の条例案が9月議会で議員提案された市では、議員自らが主体的に議員定数はいかにあるべきかという姿勢を示されたことなどを、市長は評価されている。高橋市長は現在の加西市議会の議員定数や議員報酬についてはいかがお考えか。

**答** (市長) 加西市議会では、今現在、特別委員会が設けられて議会自ら検討されており、議員定数や報酬についてのコメント

**問** 急激な人口減少が続いている中、加西市の人口規模に応じた職員数をどのように実現していくのか、その方針は。今後、行政の無駄を省いて小さく効率的な行政機構を目指す考えはあるのかお聞きする。

**答** (市長) 加西市は公立のこども園が残っているため職員数が多く、単純比較できない面もありますが、類似団体と比べて決して職員が多いという状況ではありません。正規職員を減らして会計年度任用職員へ振り替えています。監査において、正規職員へシフトするよう意見が出ており、検討する必要があります。

職員数の削減は非常に難しい面もありますが、財政健全化あって

の行政の考えのもと、無駄を省き、常に行財政改革を図りながら市政を執行したいと考えています。そのためには、小さな改善からどんどん進め、それを積み重ねるしかありません。

現在は融通を利かすことができるゆとりのようなものが非常に減ってきていますが、そのような中においても、何とか無駄を省きながら、今後も健全財政に向けて常に行財政改革に取り組んでいきたいと思います。

**要望** 多年にわたり市の財源をつぎ込むような事業はやめ、民間の力をできるだけ取り入れて施策を行っていただきたい。

### ■その他の質問項目

- ・ エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまち加西の実現について

## 閉会中の議会活動報告

加西市議会では、定例会や臨時会での議案審議や一般質問以外にも、様々な活動を行っています。

議員の資質向上のために議員研修の充実強化を図っていますが、今回は7月30日に実施した議員研修「市議会におけるハラスメント防止」についてご紹介します。

また、近年は地震災害や豪雨災害などが全国的に多発していることから、9月の防災月間に合わせ、9月2日に「地震防災訓練」を実施しました。

今後も継続して議員のスキルアップなどに努めていきます。

### 市議会におけるハラスメント防止研修 7月30日

全国市議会議長会が作製した「議員のためのハラスメント防止研修」の動画を活用して研修を行いました。議員に求められるコンプライアンスやハラスメントの定義や要件、典型的な例など、ハラスメントの基礎知識を改めて確認しました。

また、全国各地地方議会におけるハラスメント防止条例の策定の動きなど、最近の動向などについても認識を深めました。



### 地震防災訓練 9月2日

能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報が発表されたことを受け、地震発生時の安全確保や避難行動について確認するため訓練を実施しました。あわせて、車椅子利用の傍聴者の避難支援のための説明を受け、介助を実践しました。

